



2019 年 8 月 8 日

各位

会社名 株式会社識学
代表者氏名 代表取締役社長 安藤広大
(コード番号 7049 東証マザーズ)
問合わせ先 取締役経営推進部長 池浦良祐
(TEL : 03-6821-7560)

過去 2 作品で累計 22,000 部販売 識学認知拡大に向けたビジネス本第三弾 「伸びる新人はこれをやらない」の販売開始について

株式会社識学（東京都品川区、代表取締役社長 安藤広大）は、当社独自の理論にもとづくビジネス本第三弾『伸びる新人は「これ」をやらない！』（著者 富樫篤史 当社新規事業開発室室長）を 2019 年 8 月 1 1 日に販売開始いたしますのでお知らせいたします。

1. 出版の目的

これまで、『伸びる会社は「これ」をやらない！』（2017 年）、『できる課長は「これ」をやらない！』（2018 年）と出版（累計 22,000 部）させていただき、経営者・中間管理職の方々向けに、識学の理論の一部を端的にかつ事例に基づきながら、解説してまいりました。

それらに続く、第三弾『伸びる新人は「これ」をやらない！』は、表題の通り、プレイヤー職（主に新人）向けの本となっております。「若い感性でドンドン意見していくといい」「自分らしい働き方を実現する」「新人でも会社全体視点を持つ」などなど、いずれも、新入社員の働き方として近年ではよしとされることに対して、事例とその解説を識学理論で行い、「本当になすべきこと」に気づき、キラキラした働き方ばかりを謳う世間の風潮に流されず、最速で「使える人材」「伸びる人材」になる方法を丁寧に解説することを目的としています。また、新人の皆様はもとより、新人教育に関心のある社長をはじめとしたリーダーの皆様にも読んでいただける内容となっております。

2. これまでの 3 部作を通じて一貫してお伝えしたいこと

これまでの出版で「経営者」「管理職」「新人」という 3 階層に分けて、識学理論に即した内容を出版

してまいりました。第一弾『伸びる会社は「これ」をやらない！』では、経営者向けに「部下のモチベーションは気にしない」等、第二弾『できる課長は「これ」をやらない！』では、管理職向けに「経営者視点なんて持たない」等、そして今回の第三弾『伸びる新人はこれをやらない！』では、「自分らしくなくても気にしない」等、現在のマネジメントや部下指導の中では、良いとされている内容と一線を画す内容でまとめてまいりました。

これからの日本を取り巻く環境（少子高齢化や人口減等）を見据えた際、真の意味で生産性向上を促進することは、組織の成長や個人の有益性の拡大を図るためには重要な要件となって参ります。そして、それを阻害している原因が、「良いとされているマネジメント」や「良かれと思って自らがやっている行動」にひそんでいるということに一人でも多くの方に気づいていただきたいと思います。識学の導入社数は1,100社超で、まだまだ日本全国にお伝えできている状態ではないため、今回の出版により、少しでも多くの方の気づきとなり、その結果、一人でも多くの方々の可能性を最大化することができればと考えております。

3.本の概要

(1) 名称	伸びる新人は「これ」をやらない！
(2) 出版社	すばる舎
(3) 著者	富樫 篤史（当社新規事業開発室 室長）
(4) 監修	安藤 広大（当社代表取締役社長）
(5) 販売開始日	2019年8月11日

著書の富樫は、当社設立直後に入社し、これまでに多くの組織において識学の実践サポートを担ってきた経験を持っております。現在でも、経営者向けトレーニング、新人教育研修、識学マネジメントカリッジの責任者として活動しております。



4. 今後の見通し

今回の出版が直接的に、当社の損益状況及び財政状態に及ぼす影響は軽微と見込んでおります。出版により認知が拡大され、今後、当社の業績等に重要な影響を与える事象が発生した場合は、適宜開示いたします。

■ 株式会社識学： <https://corp.shikigaku.jp/>